

人と人がつながるPTA活動と新しい学校に向けたPTAづくり

取組概要

学校統合に伴って現在のPTA組織・活動の見直しや活動の精選に向けた取組をすすめ、無理なく充実した活動ができるようになった。

取り組みの詳細

（１）キャリア講話

大人になった自分を想像しながら、今を生きることを学ぶ目的で年間３回実施した。講師にはPTAのネットワークを生かし、地域在住のコンサルタントや介護福祉士、実業家を招へいた。



（２）親子ヒップホップダンス教室

PTA厚生部の発案により、親子で楽しめる行事として実施した。講師の依頼、当日の進行などをPTA厚生部員が行い、親子はもちろん、親同士のつながりもできた。



（３）新しいPTA組織に向けて

令和８年度に月夜野地区の３つの小学校が統合されることから、３校のPTA役員が定期的に会議を行い、新しい組織や会則について話し合うなど、会員が相互に連携・協働しながら活動している。

成果

- ・キャリア講話では、働くことの意義やすばらしさを聞くことで、子どもたちは社会とのつながりについて考えることができた。
- ・ヒップホップダンス教室では親子の喜ぶ姿から、PTA活動に「やりがい」を感じることができた。

課題や今後の取り組み

- ・閉校に係る行事等の運営と学校統合に向けての連携・協力。

その他の取り組み紹介

- ・安全マップのデジタル化
- ・奉仕作業と安全点検を同時に実施するなどの効率化の推進
- ・親しみやすさを追求した「PTA新聞」づくり
- ・運動会、マラソン大会での協力

主な活動実績

学校と地域が通学路等の危険箇所について情報を提供・共有できる「安全マップ（デジタル版）」を作成した。また、PTAだよりに二次元コードを掲載し、保護者や地域の方から情報提供を受けられるようにしている。

PTAの厚生部が中心となり、学校の卒業生や地域住民を講師に迎える「キャリア講話」を年３回実施している。

基礎情報

団体名

みなかみ町立
古馬牧小学校PTA

全校児童・生徒数

138名

学校の特徴

ユネスコスクールに係る教育活動において課題解決的な学習を取り入れ、「みなかみふるさと学習」の充実を図っている。

組織構成

【本部役員】

会長１名 副会長２名
書記３名（父母１教職員２）
会計２名（父母１教職員１）

【組織】

・本部役員会
・運営委員会
（広報部、安全部、厚生部）

子供たちと地域のつながりを支えるPTA活動

取組概要

キャリア教育や地域とのつながりを深めるため、教育課程に作業学習を取り入れている高等部の生徒たちの作業製品販売学習や、学校と地域をつなぐ活動に積極的に参加、協力している。

取り組みの詳細

《 資源回収 》

桐生市再生資源回収事業に登録し、PTA奉仕作業として年3回実施。資源ゴミの活用・ゴミの減量や地域住民のコミュニケーションの場の提供を目指して地域への連携協力を行っている。

また活動後には、生徒が地域で行う作業製品販売の事前学習に客となり協力している。

《 生徒の販売学習 》

生徒が休日に、地域の「みんなのマルシェ」や桐生駅前の「えきなか市」に出店し、作業学習で栽培した苗やくるみボタン製品を販売する際に来場し、地域の方々との交流を盛り上げている。

《 花の苗植えで地域交流 》

交流及び共同学習として、高等部生徒が作業学習で栽培した花の苗を町内会の方々と一緒に地域にある花壇に植えたり、管理したりしていく活動に協賛している。

製品販売学習への協力



みんなのマルシェ



地域の方々との花の苗植え



成果

- ・本校の学習活動に対する、会員、地域の方々の理解促進につながり、PTA活動への関心も高められている。
- ・子供たちが地域の方とつながるきっかけとなっている。

課題や今後の取り組み

- ・PTA活動として共生社会の実現に向けた取組の推進。
- ・子供たちの将来につながる地域との連携の推進。

その他の取り組み紹介

- ・PTA実行委員会組織の再編成による保護者負担の軽減。
- ・情報交換の場としてPTA通信を活用。
- ・アンケートによる会員の意見集約と総意の反映。
- ・進路や福祉制度・サービスに関する勉強会や施設見学会の企画・実施。
- ・家庭での安全な介助方法等の研修会実施。

主な活動実績

年3回の資源回収の実施や地域で行われる「みんなのマルシェ」「えきなか市」への参加等、生徒が地域の方々と交流する機会を提供している。

PTAが主体となり進路や福祉に関する勉強会、福祉施設などの見学会、介助の研修会、生活の質の向上に役立つ講習会を実施している。

基礎情報

団体名

群馬県立
あさひ特別支援学校PTA

全校児童・生徒数

78名

学校の特徴

群馬県唯一の小・中・高の3学部ある肢体不自由特別支援学校。児童生徒会役員を中心に学部を越えた縦断りの児童生徒会活動を積極的に行っている。
eスポーツやボッチャを授業に取り入れ、交流及び共同学習やボッチャ甲子園への挑戦等、活動の機会を広げている。

組織構成

【本部役員】

会長1名
副会長3名(含教頭1)
書記4名(含教員2)
会計3名(含事務長1)
会計監査3名(含教員1)
顧問1名(校長)

【実行委員】

学階代表・副代表6名(小中高各2)
研修部長・副部長3名(含教員1)
広報部長・副部長3名(含教員1)
文化部長・副部長3名(含教員1)
専門部(研修・広報・文化)には本部役員以外全員が所属。

PTA行事『秋まつり』を通して、非認知能力を育成する

取組概要

PTA行事は会員によるサポーターを募集。PTA本部と実行委員サポーターによって、子どもたちに様々な経験の機会を与える『秋まつり』を行う。

取り組みの詳細

◆サポーター募集方法

年度末にPTAの活動報告の手紙と次年度のサポーター募集の手紙を配布。

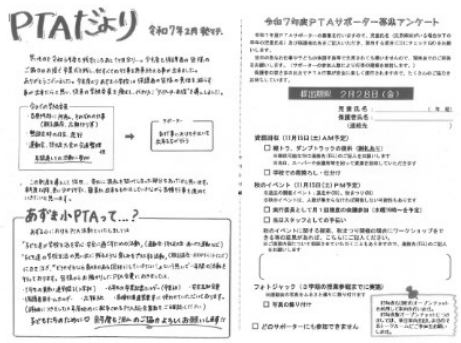
秋まつり実行委員会	4名
当日のみ	29名
資源回収	23名
フォトジャック	10名

◆PTA行事『秋まつり』

PTA本部7名と実行委員サポーター4名による「秋まつり実行委員会」を設置。企画の主旨は、子どもたちに様々な楽しみや経験をしてほしいということ。当日のみサポーター29名の他、近隣PTAやJLV（ジュニア・リーダー・ボランティア）の方等16名に手伝っていただき、ゲームコーナーやワークショップ、ステージイベントやビンゴなど各ブースを担当してもらった。

他、近年注目されている「非認知能力」の向上をはかるため、5、6年生にもサポーターを募集した。自分で考え、行動する主体性、人の役に立つ事で得られる達成感や自己肯定感、他人とうまく関わる協調性を養う場となった。

（32名参加）



成果

- ・児童の約半数や近隣の子どもたちが遊びに来て楽しんでくれた他、先生方も子連れ等で参加し、交流の場となった。
- ・児童サポーターは去年やって楽しかったから今年も参加（6年）、来年もやりたい（5年）とサポーターとしての役目に楽しみを見出している児童が多かった。

課題や今後の取り組み

- ・あずま小PTA本部役員は、一年任期だが再任も可能なので継続する方も半数位いるが、今後もイベントの主旨を理解し、継続してくれる人材を確保していくこと。
- ・秋まつりに限らず、サポーターの募集で人手が集まらない年があった場合の行事の再検討など。

その他の取り組み紹介

<資源回収>



（回覧版等で、地域の店舗にも協力を依頼してダンボール等を回収する）

<フォトジャック>

（広報用に撮影した行事写真の掲示。児童や授業参観で来校した保護者に見てもらう）



主な活動実績

PTA学級委員会を廃止し、学校行事の手伝いをPTA会員から行事毎にサポーターとして募集している。

運営はPTA本部と事務局（学校）にて行っている。

また、PTA行事『秋まつり』を開催。ゲームコーナーやワークショップ、ステージイベント等で子どもたちに楽しんでもらっている。

基礎情報

団体名

伊勢崎市立
あずま小学校PTA

全校児童・生徒数

546名

学校の特徴

創立150周年を迎え、学校教育目標である「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」の実現に向けて、地域に根ざした特色ある学校づくりに努めている。

組織構成

PTA実行委員会

<PTA本部>

- 会長 1名
- 副会長 2名
- 書記 2名
- 会計 2名
- 顧問（会長経験者）
- 事務局（学校）

<支部長>

- 小泉地区
- 東地区
- 田部井地区
- 向原地区
- 上田地区
- 西小保方地区